

はじめに

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、読み終わった後も大切に保管してください。

セット内容

組立ての前に、必要な部品がそろっているか確認してください。
※組立て前の部品に異常や破損、不足が見られましたらお客様相談室までお問い合わせください。

①ハンドル ②本体フレーム ③後輪(2個) ④背もたれフレーム ⑤足乗せステップ ⑥サドル ⑦ガード支柱 ⑧リアカゴ

⑨セーフティガード(L/R) ⑩背もたれ ⑪サンシェード ⑫サンシェードフレーム ⑬押棒(上) ⑭押棒(下)

⑮ノブナット(3個) ⑯ワッシャー(3個) ⑰スプリングワッシャー(3個) ⑱リアカゴ用ボルト ⑲品質保証書 ⑳取扱説明書/本書

※プザー用ノブボルトはプザーと同じ箱に入っています。

※上記のキャップはサンシェード、押棒を取外した際に使用する部品です。

アンパンマンSP 完成図

⚠️ 小さな部品が含まれます。誤飲等の恐れがありますので、お子様のいない所で組立ててください。

●保護者の方へ ~必ずお読みください~



⚠️ 注意

- 乗車前の点検として、ハンドル・車輪・サドル・ペダルにガタつきや緩みがないことを確かめてください。
- 使用対象年齢は1才半から4才(4才11ヶ月)までが望ましい。(身長77cm~100cm)
- 初めて一人で使用する幼児については、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。また幼児の足が地面及びペダルに確実に着く事を確かめてからご使用ください。
- 長期のご使用でネジやナットが緩むことがあります。定期的に締め直してください。
- 故障の原因にもなりますので砂場や水たまりで使用しないでください。
- 押棒、足乗せステップ、セーフティガードは自分で三輪車をこげない幼児のための補助具です。幼児の足が地面及びペダルに確実に着き、自分でこげるようになりましたら押棒、足乗せステップ、セーフティガードを取外してください。
- 取外した部品はお子様の手の届かない所に保管してください。
- 屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしたり水をかけないでください。
- 火気のある所、高温の場所は変形、故障の原因にもなりますので近づけないでください。

⚠️ 警告

- 素足で車輪に巻き込まれると危険ですので、三輪車に乗る際にはお子様に靴をはかせてください。
- 安全のため、押棒はお子様に触らせないようにしてください。また保護者が押棒を操作する際には必ずフリーペダルをご使用ください。
- 幼児がサドルの上に立ち上がらないように注意してください。また押棒に寄りかかると三輪車と共に転倒する危険があります。充分に注意してください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切った時やペダルを踏み込んだ時に転倒することがありますのでご注意ください。
- 幼児の足が地面に十分着かない状態で使用しますと転倒する危険がありますので、大人が付き添ってください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないようにしてください。
- 坂道や車両の交通量が多い所では使用しないでください。
- 斜面及び段差のある場所、転落の恐れがある場所では乗らないでください。
- 二人乗りなどの危険な乗り方は絶対にしないでください。
- 足乗せステップの上に立たないでください。また乗車時の踏み台にしないでください。
- 押棒を付けた状態で使用する時は、必ず足乗せステップを取付けて使用してください。
- セーフティガードを開閉する際は必ず保護者が操作を行い、ガード支柱の穴にお子様の手が巻き込まれないよう、注意してください。
- リアカゴの荷物を出し入れする際は、必ずストッパーをかけた状態で行ってください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- 時々手入れ点検をして、故障及び破損したままで使用しないでください。
- 三輪車以外の目的で使用しないでください。
- 業務用・団体等で使用しないでください。
- 小さな部品があります。組立ての際、誤飲の恐れがありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。
- 梱包用の袋で遊ばないでください。窒息の危険があります。
- セーフティガードの上に勝手に無理な力をかけないでください。
- 風が強い日にはサンシェードを使用しないでください。転倒の恐れがあります。

おしゃべりICプザーの使い方

エアホーン
おしゃべり / メロディボタン
カチカチハンドル

OFF ON

●ON/OFF スイッチ
*右にスライドさせると「ON」
*左にスライドさせると「OFF」

ボタン操作でキャラクターがおしゃべりしたり、2種類のメロディが鳴ります。電子音はスイッチでON/OFFの切り替えが出来ます。カチカチ鳴るハンドルギミック付き。

足乗せステップの取外し方

① サドルを固定しているノブナット、ワッシャー、スプリングワッシャーを前側だけ取外します。

② 足乗せステップを①前方にスライドさせながら②下方に向かって取外します。

③ ノブナット、ワッシャー、スプリングワッシャーを取付てしっかり固定してください。

●必要なパーツ：⑤足乗せステップ ⑮ノブナット(1個) ⑯ワッシャー(1個) ⑰スプリングワッシャー(1個)

フリーペダルの使い方

前車輪の「PUSH」の丸いボタンを押込むとペダルがフリーの状態になります。

「LOCK」の矢印方向にスイッチをスライドさせるとペダルがロックされ、通常の三輪車の状態になります。

※「LOCK」のスイッチをスライドさせても丸いボタンが完全に戻らない場合があります。その場合はペダルを少し動かすと丸いボタンが完全に戻り、通常の状態に鳴ります。

フリーペダルは走行中に足を巻き込まないための機能です。フリーの状態でもペダルが回転する場合がありますが、足に当たると回転が止まります。

サンシェードを取外してご使用の場合

●背もたれ背面図

●必要なパーツ：⑩キャップ(2個)

背もたれ背面のボタンを押しながらサンシェードを取外し、背もたれ上部の2つの穴にキャップをはめてください。

押棒を取外してご使用の場合

① 押棒取付用ボルトをゆるめて外し、押棒を引き抜いてください。この時、前輪が真っすぐ正面をむいている事を確認してください。

② 押棒を取外した穴に押棒キャップをはめ込み、①のように下から押棒取付用ノブボルトをカチカチと音が鳴るまではめ込んでください。

●必要なパーツ：⑭押棒キャップ

ストッパーの使い方

後輪のストッパーを上あげるとロック解除、下にさげるとロック状態になります。

●ストッパー側面図

●ロック解除

●ロック状態

⚠️ 注意
ストッパーは自転車などのブレーキ機構ではありません。一時的に後輪の回転を止めておくための機構です。お子様を乗せたまま放置しないでください。

※品質向上の為、一部仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

日頃のお手入れ

- 本体や車輪に付いた泥などの汚れは、柔らかいブラシや布で拭いて落としてください。ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めた物をふくませてぬぐった後、乾いた布でよく拭いてください。(シンナー・ベンジンなど揮発性の物は使用しないでください。)
- 前車輪の軸受け・ハンドル金具の回転部分・後車輪の車軸にのみ、家庭用のマシン油か自転車用油等を3ヶ月に一度程度、少量注油してください。

⚠️ おしゃべりICプザー注意事項

- 電池の交換は保護者の方が行ってください。
- 小さな部品、電池、ネジを口の中に絶対に入れないでください。
- 故障の原因となりますので雨ざらしにしないでください。
- このプザーは電子部品で構成されています。落としたり、汚したり分解しないでください。また、高温・低温になる所での使用、保管はさけてください。
- 電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなり途中で途切れることがあります。早めに電池交換してください。
- 汚れは布に水や中性洗剤を薄めた物をふくませてぬぐった後、乾いた布でよく拭いてください。(シンナー・ベンジンなど揮発性の物は使用しないでください。)
- 電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。
- 充電式電池(ニッカドなど)は絶対に使用しないでください。
- 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕⊖(プラスマイナス)を間違えないよう正しくセットしてください。
- ショートさせたり、充電、分解、過熱、火の中に入れてはいけません。
- 長時間使用しないと、消耗済みの電池は必ず取外してください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服についたときは水で洗ってください。

SGマーク制度は、三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

製品に関するお問い合わせ

エム・アンド・エム株式会社 お客様相談室
受付時間：9：00～17：00(土日、祝日を除く)
0120-078815 (フリーダイヤル)

品質0210

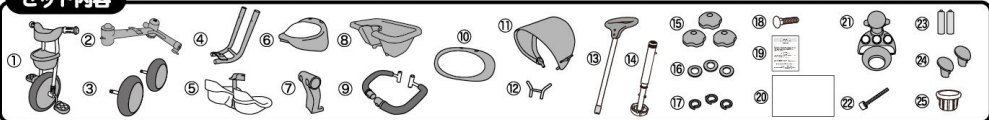
プザー付きおでかけ三輪車 おしゃべりアンパンマン SP

発売元 **株式会社ジョイパレット**
販売元 **エム・アンド・エム株式会社**
本社 〒542-0072 大阪市中央区高津1丁目10番14 TEL.06-6761-1500(代) FAX.06-6761-7677
本社代表アドレス E-mail:web@mimi.co.jp **www.mimi.co.jp**

(エスピー)

プザー付きおでかけ三輪車 おしゃべりアンパンマンSP 取扱い説明書

※各パーツ名は説明書オモテ面に記載しています。また取扱い説明書内に「組立てに必要なパーツ」と表示して番号とパーツ名を記載していますので確認してください。



組立て方

! 組立ての前に、説明書オモテ面の「セット内容」で必要なパーツがそろっているか確認してください。組立ては必ず大人が行ってください。組立てが終わりましたら梱包材は廃棄、またはお子様の手の届かない所に保管してください。

1 後輪の取付け

- 必要なパーツ：②本体フレーム ③後輪 (2個)

! 注意 後輪を取付けた後は、後輪を外側方向に引っ張り、しっかり固定されているか確認してください。

2 ハンドルの取付け

- 必要なパーツ：①ハンドル ②本体フレーム

- 1) 本体フレームに取付けられているスナップリングを外し、ジョイントピンを抜いてください。
- 2) 図1.のハンドル背面の穴に、本体フレームのヘッド部分から出ている金具を差込みます。
- 3) 図2.のようにジョイントピンを本体フレームの穴に通し、根元まで差込みます。ジョイントピン下部の溝にスナップリングをはめて外れないように固定してください。

3 足乗せステップ、背もたれフレームの取付け

- 必要なパーツ：④背もたれフレーム ⑤足乗せステップ

足乗せステップと背もたれフレームを、本体フレームの金具に引っ掛けるようにセットします。
※固定は次の項目で行います。

4 サドル、ガード支柱の取付け

- 必要なパーツ：⑥サドル ⑦ガード支柱 ⑧ノブナット (2個) ⑨ワッシャー (2個) ⑩スプリングワッシャー (2個)

- 1) サドル前方のボルトをガード支柱の穴に通します。
- 2) サドル後部の穴に背もたれフレームを通します。そのままサドルをさげ、ボルトを本体フレームの穴に通ってください。
- 3) ワッシャー、スプリングワッシャー、ノブナットを図2.の順番で取付けしっかりと固定します。

5 リアカゴの取付け

- 必要なパーツ：⑪リアカゴ ⑫ワッシャー ⑬スプリングワッシャー ⑭リアカゴ用ボルト

- 1) リアカゴを本体フレームの後ろパイプの上に置き、図1.のようにリアカゴと本体フレームの穴位置を合わせてリアカゴ用ボルトを通します。
- 2) ワッシャー、スプリングワッシャー、ノブナットを図2.の順番で取付けてしっかりと固定してください。

6 セーフティガードの取付け

- 必要なパーツ：⑨セーフティガード(L/R)

- 1) 背もたれフレームにセーフティガードを差込みます。LR表記に注意して取付けてください。
- 2) セーフティガードのボタンを押込みながらガード支柱に固定してください。 ※ガードを開閉する場合はボタンを押しながら行ってください。

ボタンが穴から出ない場合、ガードの※部分を前後にひねり、ボタン位置を調整してください。

! 注意 セーフティガードの上に乗ったり無理な力をかけてください。開閉の際はガード支柱の穴にお子様の手が巻き込まないように注意してください。

7 背もたれの取付け

- 必要なパーツ：⑩背もたれ

背もたれ背面のボタンを押しながら背もたれフレームに取付けます。
※ボタンがカチッとひまるまで奥に差込みます。

8 サンシェードの取付け

- 必要なパーツ：⑪サンシェード ⑫サンシェードフレーム

- 1) サンシェードフレームのピンとサンシェードの穴の位置を合わせて差込みます。
- 2) 背もたれ背面のボタンを押しながら、サンシェードを背もたれの穴に差込みます。 ※サンシェードの脱着は背もたれ背面のボタンを押しながら行ってください。

! 注意 前方 サンシェードフレームの前後に注意してください。(前方に穴が開いています)

9 押棒の取付け

- 必要なパーツ：⑬押棒(上) ⑭押棒(下)/押棒取付用ノブボルト

高さ調整方法

このボタンを押す(円凸ボタン) 押棒円凸ボタンを押し、好みの高さの穴でボタンが出るように押棒上部を調整します。押棒の高さは3段階に調整できます。

- 1) 押棒(下)の保護キャップを外し、押棒(上)の溝に押棒(下)の円凸ボタンを合わせて差し込みます。
- 2) 押棒取付用ノブボルトをゆるめて外し、押棒の凸部分と押棒受けの溝を合わせて差込みます。この時、前輪が真っすぐ正面を向いている事を確認して奥までしっかりと差込んでください。
- 3) 押棒取付用ノブボルトを下から取付けて固定します。

10 プザーの取付け

- 必要なパーツ：⑮プザー ⑯プザー用ノブボルト ⑰単三電池(テスト用)(2本)

電池の入れ方

単三電池2本をボックス内の表示に合わせて⊕⊖を間違えずに正しくセットしてください。電池を交換する時は必ず2本とも新しい電池に交換してください。

※付属の電池はテスト用です。音が鳴らなったり不安定な場合は新しい電池と交換してください。

ハンドルカバー裏面

- 1) プザーをハンドルカバーのブラケットに前方からスライドして差込みます。
- 2) ハンドルカバー裏面からプザー用ノブボルトを差込んで、しっかりと締めてください。

! 故障や事故を防いで安全に楽しくご使用頂くため、説明書オモテ面の注意事項を必ずお読みください。